

オフセット図の表記について

1. 原図

- ・基本は、オフセット用の白図(1/500)を使用すること。
- ・白図がない場合や、ワンスパン・補助管・自費工事などの場合はGIS出力図でも可。
ただし、縮尺は1/500とし、区画割図面番号を表記すること。

2. 記入方法における注意点

- ・オフセットは3点による測定を基本とする。ただし、止むを得ず2点しか測定できない場合は道路境界線および、水路境界線に対し直角方向の距離とする。
- ・オフセット測量においては、白図、またはGIS出力図に表記されている道路・水路境界線を基準にする。
ただし、必ず白図、またはGIS出力図の幅員をスケールアップした上で、現場で図面に整合した境界線を割り出し、オフセット測量すること。
- ・境界線が無く、止むを得ず建物構造物からオフセット測量する場合は、図面に表記されている図郭線は、屋根等の庇を含んでいるため注意すること。
- ・白図、またはGIS出力図に人孔位置をオフセット測量と、出来高距離をスケールアップにて正確に図記すること。
- ・取付管位置は、出来高距離をスケールアップにて表記すること。
ただし、スケールアップによる位置が白図、またはGIS出力図の建造物等との位置に適合しない場合は、現場に整合した位置に修正した上で表記すること。
また、口径100、150mmに関係なく1本線で記入し、2本目・特別使用の記入漏れに注意すること。
- ・人孔種別の表記については、組立1号の場合は”組1”とし、組立2号の場合は”組2”とする。
組立特殊1号の場合は”A1”とし、小口径塩ビマスは”小口径塩ビ”、小口径コンクリートマスは”小口径コン”、特殊人孔については”特殊”と表記すること。

3. 図面の提出について

- ・オフセット・縦断図を各1部ずつとし、施行年度・工事番号を明記のうえ、台帳図として紙封筒に入れること。
ただし、特殊人孔・ゲート・ポンプ構造物がある場合は、構造図も添付すること。

◎台帳整備用提出物

- ・オフセット図
- ・出来高平面図
- ・出来高縦断図
- ・公共下水道取付管布設報告書(総括表)

